

令和2年度 県立淡路高等学校 学校評価(自己評価)結果

R3.2月実施

1. 学校の教育目標

- (1) 自己実現に向けてチャレンジする生徒を支援し、将来社会を担う人材を育成する。
- (2) 豊かな教育資源や自然環境を活用し、地域社会の一員としての自覚と責任感を養う。
- (3) 体験活動を通し、社会性や豊かな人間性を育む。

2. 今年度の重点目標

- ア 各系列の連携・強化を図るとともに、基礎学力の向上に取り組み、進路目標に向かって努力できる生徒を育成する。
- イ 生活指導の充実に関心職員が一体となって取り組み、基本的な生活習慣や健やかな心、豊かな心を身につけた生徒を育成する。
- ウ 開かれた学校づくりを推進することにより、学校・家庭・地域の三者連携を深め、郷土を愛する態度を身につけた地域に貢献のできる生徒を育成する。

3. 評価について A…3.0以上 B…2.7以上3.0未満 C…2.7未満 の3段階評価

全教職員が、各評価項目について 4…よくできている。3…できている。まあそう思う。2…あまりできていない。1…できていない。の4段階で評価した結果を集計した。

評価分野	評価項目	具体的活動計画	R02評価	平均	R01評価	平均
1	1-1 授業改善	○授業改善・授業力の向上 生徒が主体的・協働的に学び、満足度の高い授業を実践するため、次のことに取り組む ①公開授業週を年2回実施し、互いの授業を見ることで、自己の授業を振り返る。 ②授業に関する職員研修会を年2回実施し、協議を通して授業力を高める。 ③生徒による授業アンケートを実施し、生徒の授業満足度を向上させる。 ④新学習指導要領を踏まえた職員研修を実施する。 ⑤PC、タブレット等情報機器を活用し、生徒にとって魅力ある授業づくりを行う。 ⑥「読む」「書く」「聞く」の力をつける教育に取り組む。	A	3.14	A	3.08
	1-2 基礎学力向上	○基礎学力向上・学習習慣の定着 ①週4日、始業前の時間を利用して朝学(小テスト)を継続実施し、学習習慣の定着を図る。 ②英数国3教科を中心に、卒業時に身につけておきたい基礎学力を定めて、それを意識した授業内容を実施する。	A	3.08	B	2.94
2	2-1 魅力づくり・発信	○系列内容の充実 ①各系列とも、探究活動を取り入れた学習内容を工夫して行う。 ②外部講師の活用や体験学習等、各系列の特徴を生かした本校でしか学ぶことのできない授業内容を工夫して行う。 ③生徒に対して、資格取得や各種コンテストなどへの積極的参加を促し、学習の成果を発揮できるようにする。 ④総合学科発表会を通じて、本校の学びが持つ魅力について全校生徒に再確認させる。	A	3.61	A	3.33
3	3-1 将来像の形成	○キャリア教育の計画的指導 ①1年次:「産業社会と人間」「LHR」を通して、計画的に進路希望調査、進路ガイダンス等を実施し、進路意識を高める。 ②2年次:「総合的な探究の時間」「LHR」を通して、計画的に進路希望調査、進路ガイダンス等を実施し、進路意識を高める。 ③2年次:インターンシップへの参加(就職希望者全員)、オープンキャンパスへの参加(進学希望者全員)を実施する。 ④3年次:「総合的な学習の時間」「LHR」を通して、計画的に進路希望調査、進路ガイダンス等を実施し、進路意識を高める。 ⑤3年次:一人ひとりの進路に応じた個別指導(求人開拓、応募前職場見学、面接指導など)を実施する。 ○進路実現に向けて ①就職希望者の内定率を高める。(1次合格90%以上) ②進学希望者の第1志望校への合格を達成する。	A	3.33	A	3.22
	3-2 情報提供と連携	○情報発信と校内連携 ①進路だけでなく学校ホームページ、年次通信、学年集会、PTA総会等を通じて、生徒や保護者に対して積極的に情報提供を行う。 ②生徒が積極的に進路指導室および進路情報室を利用できる環境を整え、有用な情報を得られる場とする。 ③各年次・各系列との連携を深める。	A	3.14	B	2.97
4	4-1 基本的な生活習慣	○マナーの向上と問題行動の未然防止 ①挨拶、身だしなみ、遅刻等の指導を継続的にを行い、自ら行動できる生徒を育てる。 ②問題行動やネットトラブル、薬物乱用の未然防止のために、毎月講話を行う。 ③生活習慣の確立と防犯意識の育成に向けて、全校生を対象とする講演会を実施する。 ④学期に1回、生活アンケートを実施・分析し、生徒の指導に活かす。 ⑤月1回、全教職員で全校生徒の状況把握を行い、情報を共有する。	B	2.75	C	2.58
	4-2 学校行事と部活動	○学校行事・部活動の活性化とリーダーの育成 ①部活動への加入を推奨し、活性化を図る。 ②合唱コンクール、体育大会、淡高祭、球技大会等の学校行事において、生徒が主体となって運営を行う。 ③生徒会活動の活性化を図り、リーダーの育成を目指す。	B	2.83	B	2.78
	4-3 心身の健康	○心身の健康の保持促進 ①生徒の健康や安全につながる講演会を、年3回実施する。 ②生徒理解(特にいじめや不登校の未然防止)に向けた、職員のカウンセリング研修を年2回実施する。	A	3.22	A	3.06
	4-4 環境整備	○環境に対する意識の向上 ①学期に1回、PTAとともに地域清掃実施する。 ②教職員、生徒とともに、節電・節水の意識を持った教育活動を行う。 ③教室の施設管理、及び清掃の徹底に努める。 ④夏季休業中に、職員及び生徒(ボランティア)が教室及び廊下・階段のフックス掛け等清掃活動を行う。	B	2.72	B	2.83
5	5-1 人権	○生徒の人権意識の育成 ①年間指導計画を作成し、人権HR、人権映画、人権講演会を効果的に実施する。 ②生徒一人ひとりを大切にしたい学校づくりを目指して、職員研修を年2回実施する。 ③学期に1回、人間関係に関するアンケートを実施し、いじめの未然防止に努めるとともに、いじめの実態を把握しその解消に向けて取り組む。	A	3.31	B	2.94
	5-2 防災・安全	○安全で安心な教育環境づくり 学校事故や災害に備えた体制をつくり実践ができるよう、次のことに取り組む ①年1回、心肺蘇生法(AED使用方法)や不審者対応の訓練を行う。 ②年1回、防災講演会、地区別防災HR、総合防災訓練を実施し、震災から25年の節目において震災を風化させない取り組みを実施する。 ③施設・設備の定期点検を実施する。 ④自転車通学生徒の自転車保険への加入率100%を達成する。 ⑤北淡震災記念公園と連携して、「語り部活動」を継続していく。	A	3.08	A	3.17
	5-3 特別支援教育	○合理的配慮に基づく校内支援体制の確立 ①月1回、校内委員会を開催し、生徒の実態把握を行い支援体制を整備する。 ②年3回、通級指導のための職員研修を行い、生徒が安心して生活できる学校作りを行う。 ③通級指導の年間計画を策定し、教育課程上における実施の準備を行う。 ④保護者との連携、協力を密にし、支援内容を充実させる。 ⑤関係機関と連携を図り、情報収集並びに情報共有を行う。	A	3.42	A	3.25
6	6-1 広報活動	○積極的な情報発信 ①学校案内パンフレットを改定し、島内3市・神戸市・明石市の中学校訪問をはじめ、校外でのPR活動を積極的に行う。 ②淡高ブログや年次通信を定期的に発行するとともに、学校ホームページを随時更新し、情報発信に努める。 ③オープン・ハイスクールを年3回実施し、中学生やその保護者、地域住民等に対して積極的に情報提供を行う。	A	3.56	A	3.53
	6-2 地域連携	○地域と一体となった活動の推進 ①地域住民とともに、総合防災訓練、ふれあい料理教室、ささやか真心プレゼント、交通安全マスコット配布を実施する。 ②めぐみ市をはじめ、各系列や各部活動の特徴を生かした地域との交流活動を実施する。 ③淡路市や近隣地域の各種行事において、積極的にボランティア活動に取り組む。	A	3.31	A	3.50
	6-3 意見収集	○地域住民の意見集約とその反映 ①地域での活動や学校評議員会で得た意見を集約し、さらに活気ある学校づくりに活かす。 ②学校評議員会を年間2回実施し、学校評価を効果的に実施する。	A	3.25	A	3.22

※上の項目を点検するための評価シートを作成し、生徒アンケート、保護者アンケート、教職員アンケート、授業アンケート、生活アンケート、人間関係に関するアンケート、実施状況実績等により自己評価を行う。その結果について学校関係者(学校評議員)の方々にご意見をいただき、最終的な学校評価とする。